

丸火自然公園に決まりました

名称募集の入選者は 井出茂さん(本市場)ら4人

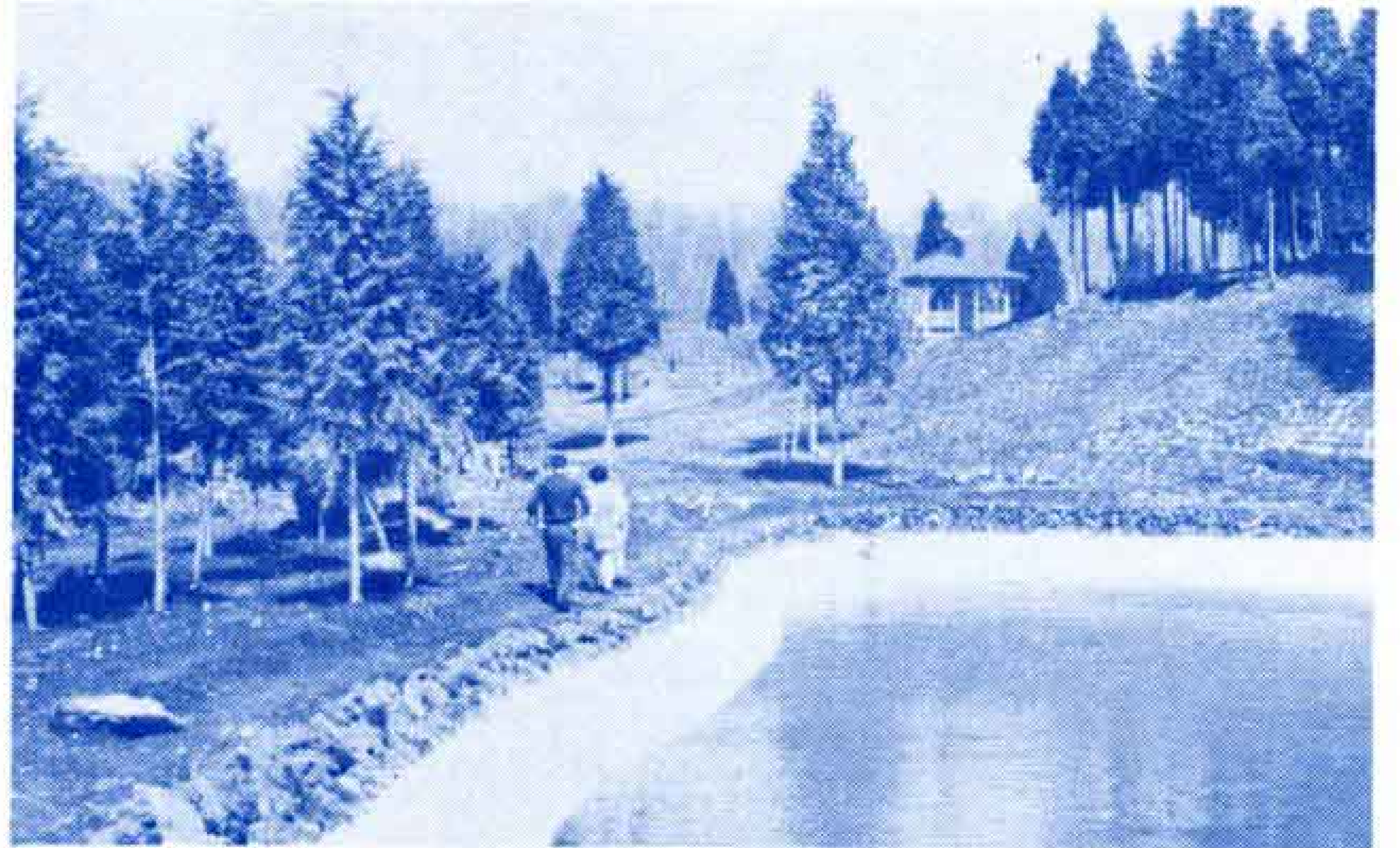
大淵丸火に建設中の自然休養林(森林公園)の名前が「丸火自然公園」に決まりました。

公園の名前は、市民みなさんから富士市の森林公園にふさわしい名前を応募していただき、名称選定委員会(委員長渡辺市長)で審議してこのほど決めました。応募していただいた人は152人。このうち、丸火自然公園の名前で応募した人は次の4人の方でした。4人の方には4月13日に丸火自然公園内で行なわれる県中央植樹祭のとき、錦松の盆栽を贈ります。

・井出茂さん(本市場)・小野恒敏さん(宇東川町1)・藤沢美能さん(中比奈)

・山田清さん(中里)

丸火自然公園は、昭和46年度から事業に着手し、昭和50年度までに完成させます。面積は100㌔。事業費は1億5000万円です。園内には植物や熔岩を観察できる林内観察地区、四季の花木を植えた遊園地区、キャンプやスポーツができる青少年野外活動地



【人工池などは完成しました】

市政モニター提言

大月線の「大水」を 解消して

私の家のあたりは、どしやぶり雨が20分も続くと「洪水」になります。そうすると通行量の多い大月線が、車道歩道、側溝の区別がつかなくなってしまう。

車は水しぶきを上げて走り、バス停の人や歩行者は頭からドロ水をかぶってしまいます。歩行者だけではありません。庭まで川のようになり、ゴミがドット流れてきます。

車もそうです。水をかぶり、エンジンがかからなくなつて、交差点で立ち往生しているのをよく見かけます。いまのところ事故は起きていないようですが、いつ大きな事故が起るか分かりません。また、前に伝法小学校の近くで、子

どもが側溝に落さ、もう少しで大けがをすところだつたという話を聞きました。大月線の側溝はそれほど深くないので、たいしたことはないというかも知れませんが、事故はいつ起るか分かりません。

大月線は国道で、市とは関係ないというかも知れませんが、住民にすれば住みよくなるのが望みなのです。どうして水があふれるかよく調べ、早急に対策をたてていただきたいと思ひます

(吉原上中町・竹内美喜子)



【車道、歩道の区別がつかなくなつた大月線】

区にわかれています。

なお、遊歩道、人工池、駐車場など園内の施設は昭和46年度事業で、すでに一部できています。これからは新緑の季節です。家族そろつて丸火自然公園へお出かけください。なお、ご利用いただく場合、みんなの公園ですから、ゴミを捨てたり、樹木をキズつけたりしないでください。

ほくらのまち



今泉小学校
6年

田中哲文

ぼくの住んでいる所は、昔、今泉村と言われていました。家も少なく、工場もあまりなく、すぐらの山は緑につつまれ、かきの木やくりの木がたくさんあつたそうです。上和田町から和田町、泉町を通つている和田川は、いつも水がきれいで、水も多く、魚釣り、水泳などが自由に出来たそうです。

ところが、いまはうすぎたない空に、えんとつが無数に立ちならび、川はきたない水とゴミでよごれ、大雨の時はすぐはらんし、昔の町などとても考えられません。

町に住む多くの人々の努力によつて、今のような、にぎやかで、りつばな町になりました。しかし、交通事故などいろいろな問題もたくさん出てきました。学校へ行くのにも、道のすみを小さくつて、歩かなければなりません。

自動車なんか気にしないで、自由に歩くことができ、そして遊び場がいっぱいある町をゆめ見えています。